

豊中の未来を描こう！！

発行 2018年6月

VOL. 140

何事も
真実を誠実に
公表して欲しい
ものです。

豊中市議会議員
無所属

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

◆ 選挙に支出される税金の額は！？～効率化、合理化を進められないか？？～ ◆

4月に行われた市長選挙・府議会議員補欠選挙・市議会議員補欠選挙は、どれも投票率がたったの**36.9%**であり、有権者の関わりが極めて低い選挙に強い危機感と空虚感を抱きました。今回は選挙にどれだけの税金が使われているのかをお示しつつ、いくつかの疑問をまとめました。

★投票業務の従事人数を減らせないか？★

投票所1か所に投票管理者1人、投票立会人2人、市職員3人、民間従事者約5人を配置しています。

手当は、

- 投票管理者 29000円
- 立会人 12100円
- 市職員 **約45000円**
- 民間従事者 17800円。



投票所での名簿管理を電子データのみにするなど、業務の簡略化を凶り、市職員の配置人数の抑制や、業務の民間従事者への振り分けが可能になるのではないのでしょうか。

投票所での業務の簡略化を模索すべき！！

4月に実施された選挙に要する税金は予算ベースで

市長選挙：約1億800万円

府議会議員補欠選挙：約7600万円

市議会議員補欠選挙：約5000万円

実に**約2億3400万円！！**

(注)これらの数値は予算額であり、執行額とは異なります。

★開票作業をする市職員数を減らせないか？★

開票業務はほぼ全て市職員が行っています。

開披、計数など様々な業務に数百人の職員が配置されています。

今回は、府議会議員補欠選挙・市議会議員補欠選挙が急遽行われることになり、人員の募集、確保に時間的余裕がなかったかもしれませんが、全ての業務を市職員が担う必要があるのでしょうか。

可能な限りアルバイト等を活用すべき！！

★広報費の削減はできないか？★

市内にはポスター掲示場が494か所設置され、選挙公報や投票所案内地図は全戸配布され、広報看板も多数設置されています。選挙自体にネットやSNS等の活用が認められており、選挙広報についてもSNSを中心とした無料媒体を積極的に活用するべきではないでしょうか。

無料の広報媒体を積極的に活用すべき！！

◆市長選挙・市議会議員補欠選挙の個人的分析～やっぱり、組織に有利な低投票率!!～◆

選挙結果をデータ化していくと、単なる当選、落選だけでなく、様々なことが見えてきます。これは、あくまで個人的な分析、見解ではありますが、以下にいくつか感じたことを記載します。

豊中市長選挙（定数1名）

候補者名	総得票数(人)
長内 しげき(無所属)	49,863
中川 隆弘(大阪維新の会)	43,152
松岡 あきみち(無所属)	26,114
合計	119,129

政党名	総得票数
大阪維新の会	43,152
無所属	75,977

豊中市議会議員補欠選挙（定数3名）

候補者名	総得票数(人)
中岡 ひろあき(自由民主党)	36,407
大田 やすはる(大阪維新の会)	25,183
沢村 みか(大阪維新の会)	21,933
白岩 正三(無所属)	19,594
小林 清(無所属)	10,117
合計	113,234

政党名	総得票数
大阪維新の会	47,116
自由民主党	36,407
無所属	29,711

大阪府議会議員補欠選挙（定数2名）

候補者名	総得票数(人)
植田 まさひろ(大阪維新の会)	43,890
中井 もとき(自由民主党)	43,018
山本 いくとく(日本共産党)	27,253
合計	114,161

政党名	総得票数
大阪維新の会	43,890
自由民主党	43,018
日本共産党	27,253

【市長選挙総評】

- ①長内候補は、実質、大阪維新の会以外の政党が応援していたにも拘らず得票数が少なかった？
- ②中川候補は、両補欠選挙の大阪維新の会の総得票数よりも得票数が少なかった？
- ③松岡候補は、組織のない選挙で低投票率では厳しかった？

【市議会議員補欠選挙総評】

- ①大阪維新の会の勢いは健在かつ、票分けも一定できている
- ②無所属候補者には厳しい結果

【府議会議員補欠選挙総評】

- ①市長選挙と両補欠選挙の結果から、大阪維新の会の基礎票は約4万3千票
- ②自由民主党の基礎票は約3万6千票
- ③日本共産党は、かなり無党派層の得票数があった



神原のここが疑問!!

① 20万人以上の有権者が権利を放棄!!～丸投げ、それとも白紙委任なのか!?～

選挙の投票率が36.9%だったということで、有権者約32万8000人の内、約20万7000人が選挙権を放棄されたことになります。まち、社会、地域、生活、様々なことが政治と密接につながっており、各自が思い描く理想のまち、社会、地域、生活環境を具現化していくためには、その理想や希望を託し、委ねる政治家を選ぶ権利を先ずは行使すべきではないでしょうか。選挙権も被選挙権も行使されない有権者は、議会の決定、行政の執行に全て丸投げ、もしくは白紙委任ということなのではないでしょうか？

②防げたはずの数千万円の税金の支出!!～市議会議員の補欠選挙は回避できたのでは?～

公職選挙法では、市長選挙告示日の10日前までに市議会に欠員があれば、市長選挙と同時に市議会議員の補欠選挙を実施することとなっています。今回、大阪維新の会の前市議会議員が、市長選挙告示日の11日前に辞職されたことで、市議会議員の補欠選挙が実施されることになりました。市議会議員の補欠選挙が実施されなければ、選挙の経費や新たに選出された議員に対する報酬等への数千万円もの税金の支出は抑制できたはずで、それだけのお金があれば、教職員やケースワーカーの増員、保育士やヘルパーの処遇改善、もしくは施設等の修繕など市民生活の向上、市政課題の改善に活用できたのではないではないでしょうか？

発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階

TEL&FAX: 06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています!!

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

